

# 北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

第 743 号

[Website] <http://www.print.or.jp>

[E-mail] [info@print.or.jp](mailto:info@print.or.jp)

4

2018

平成30年  
4月10日発行

## INDEX

印刷燦燦	3
HOPE2018 出展・セミナー出講の募集案内	4・5
平成29年度補正 ものづくり・商業・サービス経営力向上支援 補助金（ものづくり補助金）公募案内	6・7
平成30年度オフセット印刷技能検定案内	7
全国青年印刷人協議会第31回全国協議会開催	8
Print Next2018開催	9
㈱アイワードが「日本でいちばん大切にしたい会社6」で紹介される	10
平成29年度DTP技能検定合格者	10
お悔やみ	10

《表紙》北海道の大きな湖 No.2 屈斜路湖 (79.6km<sup>2</sup>) [4月：網走郡美幌町]

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル  
TEL.011-595-8071/FAX.011-595-8072

UD  
FONT  
by MORISAWA

280  
古紙パルプ配合率30%再生紙を使用

VEGETABLE  
OIL INK

ISO 9001  
P-810129  
品質保証  
ISO 14001  
環境保証  
P-810129  
環境保証

CSR

この印刷物は、CSRに  
取り組む印刷会社が製作  
した印刷物です。

P-00023

# 印刷 燦 燦

## 平昌オリンピック・パラリンピックで感じたこと

皆さんもオリンピック・パラリンピックを見たことと思いますが、ハラハラドキドキの展開に一喜一憂したことと思います。

その中で感じたことは、涙ながらに感謝の言葉を述べていたことです。周りの方のサポートがあったから、皆さんの応援があったからと語っていました。

スノーボードで銀メダルを取った平野歩夢さんは、「本当に、やりたくない事に挑戦してきた事が多かったんで、やっぱり楽しい事より、もう嫌な事だらけです」と言っていたのが、印象的でした。

パラリンピックのスノーボード選手の成田緑夢(ぐりむ)さんが、報道ステーションのインタビューに答えていた内容が印象的でした。松岡修造氏が「不可能なものは不可能」と言うと、成田さんは「不可能と思われることがあった時、それを1万分の1に割ってみる。それならできるはず、その積み重ねだと」と言っていました。この言葉にハッとさせられた松岡氏は「人間力がすごい」と成田さんを絶賛していました。

トップアスリートになるには、いろいろな人の力が集まって成し得たことなんだなと感じましたし、壁を超えるには、楽しいことだけではないのだなと感じた次第です。

仕事で「出来ません。無理です」とよく言っている自分がいますが、壁の先の楽しいこと、幸せなことに辿り着くには、一步一步、嫌なことでも取り組んでいき、挑戦しなければ壁は超えられないと感じた次第です。

2年後の東京オリンピック・パラリンピック、そして札幌での冬季オリンピック・パラリンピックの開催が決まるようなことがあれば、トップアスリートの活躍を直に見てみたいものです。

北海道印刷工業組合 理事 西山 真  
大輝印刷株式会社 代表取締役

# HOPE2018 出展・セミナー出講の募集開始

HOPE実行委員会は、一昨年から装いを新たに開催し、第3回となる「HOPE2018」を8月31日(金)・9月1日(土)に札幌市白石区のアクセスサッポロで開催します。

現在、出展ならびにセミナー出講の募集を行っています。



HOPE2018 ご出展ならびにセミナーご出講のお願い

印刷資機材・情報機器製造ならびに販売各社の皆様には、平素から道内印刷関連業界に対しまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

HOPE (HOKKAIDO PRINT EXPO) は、これまで23回にわたり開催してきました「北海道情報・印刷産業展」を、セミナーと展示会を組み合わせた学びと情報発信の場として、装いを新たに一昨年から開催して、今年が第3回となります。

お蔭様で多くの方々から高い評価をいただいています。

今、印刷産業は、取り巻く環境が様変わりし、未曾有の転換期にあり、勝ち残っていくためには、新しい印刷産業へのリ・デザインが求められています。そのためには、ハードとソフトの両方に着目をして、新しい目線で印刷産業を捉え、印刷産業が発展を遂げられるようにしていかなければなりません。

第3回となります「HOPE2018」を、8月31日(金)・9月1日(土)の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで開催します。

今年の「HOPE2018」は、過去2回の反省点を踏まえ、さらに工夫を凝らし、学びと情報発信の場として、より有効に活用できるように努めて参ります。

印刷資機材・情報機器製造ならびに販売各社の皆様には、ICT時代を切り開く大きな戦力や武器となる最新の機器・機材・資材等のご出展ならびに企業発展に寄与する経営・技術情報等のセミナーをご出講いただきたくお願い申し上げます。

印刷関連業の皆様には、自社のコラボレーションビジネス情報発信の場として、ご出展ならびにご出講いただきたくお願い申し上げます。

平成30年4月

HOPE実行委員会

会長 板倉 清

## ●HOPE2018 開催要領●

- ①日 時 平成30年8月31日(金)・9月1日(土) 10:00~17:00
- ②会 場 アクセスサッポロ (札幌市白石区流通センター4丁目3番55号)
- ③テ - マ 「新しい印刷産業へのリ・デザイン」
- ④展 示 会 Dホール 77小間
- ⑤セミナー

	会場名	収容人員	10:30~12:00	13:00~14:30	15:00~16:30
8月31日(金)	小 展 示 場	120	基 調 講 演	①	④
	研 修 室 A	80		②	⑤
	レセプションホール	80		③	⑥
9月1日(土)	小 展 示 場	120	特 別 企 画	⑦	⑩
	研 修 室 A	80		⑧	⑪
	レセプションホール	80		⑨	⑫

※会場の詳細は、アクセスサッポロのホームページ (<http://www.axes.or.jp/>) をご参照ください。

## 【出展およびセミナー出講募集要領】

### ①展示会

- ① 出展料金 1小間 (間口3,000mm×奥行2,500mm×高さ2,400mm)  
110,000円 (消費税別)  
※基本装飾 (3面パネル・社名板のみ)、  
基本電気設営、電気使用料を含みます。
- ② 搬入・設営 8月29日(水) 10:00~17:00  
8月30日(木) 9:00~17:00
- ③ 撤去・搬出 9月1日(土) 17:00~21:00

### ②セミナー

#### ①出講料金

- 120人収容会場 180,000円 (消費税別)  
80人収容会場 160,000円 (消費税別)  
※プロジェクター、スクリーン、マイクは実行委員会で用意します。それ以外のものは各社でご用意ください。

#### ②開催方法

- ①2日間で14小間のセミナー枠を設け、うち12小間を販売します。
- ②セミナー開催費用として、講師の謝金 (50,000円)・交通宿泊費 (70,000円) は、主催者で負担します。  
それ以上の費用が発生した場合は、開催会社の負担とします。金額は、消費税込の金額です。
- ③セミナー受講料は、原則、無料とします。
- ④受講者募集の周知は、実行委員会およびセミナー購入会社が協力して行います。
- ⑤お申込みいただいたセミナー開催希望日は、調整させていただく場合があります。

#### ③時間 1セミナー：90分

### ③申込方法

出展・セミナー出講申込書に必要事項をご記入のうえ、下記へお申込みください。

HOPE実行委員会  
〒062-0003

札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル 4階  
北海道印刷工業組合内  
TEL011-595-8071/FAX011-595-8072  
[e-mail] info@print.or.jp

### ④申込期日

平成30年5月25日(金)

ただし、申込先着順とし、満小間になり次第、募集を締め切ります。

### ⑤出展・出講料金のお支払

募集締切後、請求書をお送りさせていただきます。  
納入期限は、平成30年7月31日(火)とさせていただきます。

### ⑥展示会配置図およびセミナー時間割

6月29日(金)開催予定の「出展社説明会」でお知らせします。

### ⑦ポスター、ガイドブックおよびDMハガキ (7月中旬作製予定)

ご希望の場合は、出展・セミナー出講申込書にご記入ください。なお、配付数については調整させていただく場合があります。

### ⑧展示会での特別装飾・照明 (有料)

ご希望の場合は、出展・セミナー出講申込書にご記入ください。

### ⑨貸出備品、会場使用の注意事項等について

「出展社説明会」でお知らせします。

### 《お問い合わせ先》

HOPE実行委員会

〒062-0003

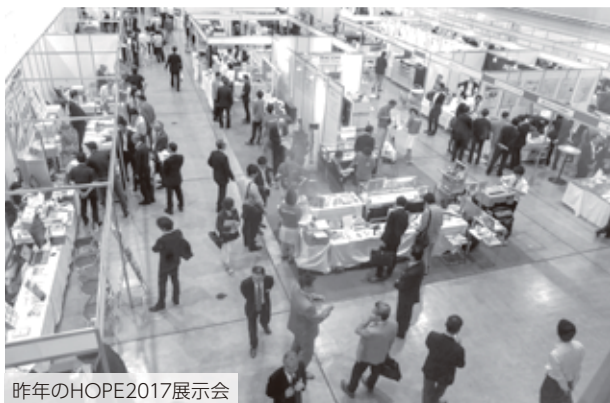
札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル 4階

北海道印刷工業組合内

TEL011-595-8071 FAX011-595-8072

[e-mail] info@print.or.jp

[URL] http://www.print.or.jp



昨年のHOPE2017展示会



昨年のHOPE2017基調講演

# 平成29年度補正 ものづくり・商業・サービス経営力 向上支援補助金（ものづくり補助金） 公募受付中

公募締切 4月27日

経済産業省は、「平成29年度補正 ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金（ものづくり補助金）」の公募を行っている。

## 事業概要

同事業は、足腰の強い経済を構築するため、日本経済の屋台骨である中小企業・小規模事業者が取り組む生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等の経費の一部を補助し、支援する。

## 補助対象者

認定支援機関の全面バックアップを得た事業を行う中小企業・小規模事業者であり、以下の要件のいずれかを満たす者。

- (1)「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年で、「付加価値額」年率3%および「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。
- (2)「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、3～5年で、「付加価値額」年率3%および「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。

## 公募期間

平成30年2月28日(水)～4月27日(金)（当日消印有効）  
※採択は、6月中を目処に行われる予定。

## 申請類型

### ①企業間データ活用型

- (1)事業期間  
交付決定日～平成30年12月28日(金)
- (2)対象事業  
複数の補助対象者が、事業者間でデータ・情報を共有し、連携体全体として新たな付加価値の創造や生産性の向上を図るプロジェクト。
- (3)対象経費  
機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費。
- (4)補助率と補助上限額  
対象経費の2/3以内、上限額1,000万円  
※連携体は10者まで。さらに200万円×連携体参加数を上限額に連携体内で配分可能。

## ②一般型

### (1)事業期間

交付決定日～平成30年12月28日(金)

### (2)対象事業

補助対象者が行う革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善に必要な設備投資等。

### (3)対象経費

機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費。

### (4)補助率と補助上限額

対象経費の1/2以内、上限額1,000万円。

※以下のいずれかの場合には補助率2/3。

①平成30年通常国会提出の生産性向上特別措置法に基づき、固定資産税ゼロの特例を措置した地方自治体において補助事業を実施する事業者が、先端設備等導入計画の認定を取得した場合。

②3～5年で、「付加価値額」年率3%および「経常利益」年率1%に加え、「従業員一人当たり付加価値額」(＝「労働生産性」)年率3%を向上する中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画を、平成29年12月22日の閣議決定後に新たに申請し承認を受けた場合。

## ③小規模型

### (1)事業期間

交付決定日～平成30年11月30日(金)

### (2)対象事業

小規模な額で補助対象者が行う革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善(設備投資を伴わない試作開発等も支援)。

### (3)対象経費

〔設備投資のみ〕

機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウド利用費。

〔試作開発等〕

機械装置費、原材料費、技術導入費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費。

### (4)補助率と補助上限額

小規模事業者は対象経費の2/3以内、その他は

対象経費の1/2以内、補助上限額500万円。

※①～③全ての申請類型について、生産性向上に資する専門家を活用する場合には、補助上限額を30万円の増額が可能。

## ◎審査における加点項目

①生産性向上特別措置法に基づいた、固定資産税ゼロの特例を措置した自治体において、当該特例措置の対象となる先端設備等導入計画の認定企業。

②有効な期間の経営革新計画の承認(申請中を含む)、または、経営力向上計画の認定(申請中を含む)、または地域未来投資促進法の地域経済牽引事業計画の承認(申請中を含む)のいずれかを取得した企業。

③総賃金の1%賃上げ等に取り組む企業。

④小規模型に応募する小規模事業者。

⑤九州北部豪雨の局地激甚災害指定を受けた市町村に所在し、被害を受けた企業。

## 【申請・問い合わせ先】

北海道地域事務局

〒060-0001

札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7 5階

TEL011-522-9300

## 平成30年度オフセット印刷技能検定のご案内

平成30年度オフセット印刷技能検定(1級・2級)の受検申請を受付中です。

受検申請期間：平成30年4月4日(水)～4月17日(火)

受 検 申 請 先：北海道職業能力開発協会  
各地方職業能力開発協会

詳細は、下記ホームページ(北海道職業能力開発協会)を参照ください。

<http://www.h-syokunou.or.jp/02/pdf/30zenki.pdf>

# 全国青年印刷人協議会 第31回全国協議会開催される

全国青年印刷人協議会第31回全国協議会が、2月11日(日)午前10時30分、大阪府大阪市の西本町インテスビルで開催されました。

**協**議会は、まず前日に行われたPrintNext2018の山本実行委員長より御礼の言葉をいただき、つづいて恵議長をはじめ来賓の全日本印刷工業組合連合会の作道副会長、滝澤副会長より挨拶をいただきました。

今期の全青協は、「未知の創造」をテーマに、両利きの経営（知の探索と深化）、異業種とのアライアンスの重要性、そしてイノベーションについて学びました。

その事例として、九州ブロック副議長の会社である沖縄県の平山印刷の取組が発表されました。

空港から15分のアクセスで、ビーチが隣接する豊崎地区に、人と人、企業と企業がつながりあい、新しいビジネスを創出する交流型サービスオフィス「TOYOPLA」（豊崎プラットフォームセンター）を開設した事例でした。これは平山印刷内にコノ街デザインという運営会社を作り、そこが行政や通り会、企業、商工会とのつなぎ役となり、地域課題の解決に向けて取り組んでいました。また、ビジネスに必要な印刷物は平山印刷にプリントセンターを設置して対応したり、保育園を併設して子供を預けられるような工夫もされているようです。まさに印刷会社がストラク  
※豊崎プラットフォームセンターホームページ <http://toyopla.jp/>



チャル・ホール（ハブ役）となっている事例で、大変有意義な話を聞くことができました。

今年は任期満了による議長・副議長の改選年であり、東京都の青樹印刷株式会社の青木允（まこと）氏が次期議長として推薦され、承認されました。また各ブロックの副議長と議長指名の副議長についても発表されました。

組合員の皆様により良いかたちで落とし込めるように、ブロック協議会の設営や情報発信を行っていただきたいと思いますので、今後とも全青協事業への理解と協力をよろしくお願い申し上げます。

（青年部事業委員長 岡部信吾：記）



# Print Next2018開催される

印刷業界青年団体合同イベントであるPrintNext2018が「強い会社になる為に、そして企業を永く継続する為に」をテーマに、2月10日(土) 午前10時、大阪府の大阪市中央公会堂で、参加者が600名を超えるなかで開催されました。

**最**初に行われたパートナーズセッションでは、今回のPrintNext2018に協賛していただいた企業に登場いただき、印刷に限らず各企業が取り組まれている新たな挑戦を紹介いただきました。

「親子で語ろう未来の印刷大賞」では、印刷に関わる仕事をしている人の子どもを対象とし、親子で語り、親子で考えて親子でともに作ることとし、最優秀賞には「生物体内透視スキャンと同材質3Dプリント装置」が選ばれました。体内の臓器をスキャンし、病気などに侵された悪い臓器がある場合、健康な同材同質の臓器を製造（実物プリント）できる装置ということでした。

つづいて、メインイベントであるプリネクカップが開催されました。「自ら仕事を作り出す」ということを印刷業界の課題と捉え、全国8ブロックで自ら企画し、行動し、体験したことを発表していきました。北海道ブロックは、LGBTをテーマにし、札幌市のパートナーシップ制度などにも触れながら周知するために、セミナーを開催した結果を報告しました。残念ながら入賞することが出来ませんでした。興味をもって話しかけてくれた方もいて取り組んで良かったと思います。

最優秀賞は東京ブロック（お米とコーヒーの販売）、企画賞は東北ブロック、チームワーク賞は九州ブロック、達成賞は関東甲信越静ブロックでした。

懇親会は、人数の多さの迫力と全国各ブロックの名産品を賞品にくじ引きで盛り上がり、盛会のうちに終了しました。



今回、北海道ブロックメンバーは団体の垣根を超えた若いメンバーで構成して参加し、新たな結束も生まれ、とてもよい機会でした。次回開催は決まっていますが、もし開催されるようであれば、また参加させていただければと思います。

（青年部事業委員長 岡部信吾：記）





# (株)アイワードが紹介される

## 日本でいちばん大切にしたい会社6

株式会社アイワード（奥山敏康社長／札幌市中央区北3条東5丁目5-91）は、法政大学大学院政策創造研究科の坂本光司教授の著書「日本でいちばん大切にしたい会社6」に、「愚直一途に印刷に向き合ってきたからこそ生まれる驚きの技術」として取り上げられ、紹介されている。

**著**書の序文には、「札幌にある社員250名ほどの印刷会社が、画期的な技術を開発しました。アナログで撮られた昔の写真を復元する技術です。歴史的資料を消滅させないために、使命感をもって印刷に向き合う良心的なこの会社は、かつては倒産寸前でした。死んだ会社を建て直したのは、外部からやってきた若い経営者でした。」と記されている。

同社の本文目次は、色あせたカラー写真が鮮明によみがえる／手さぐりで始めた色の復元／経験則の復元技術に科学的な裏付けがなされる／高級カラー印刷に高い技術力を発揮する／三十五歳の若者が経営者としてやって来た／同じ会社なのに、なぜこんなに違うんだろう／組織の体をなしていない会社／自ら率先してトイレ掃除を始める／全員が火の玉となって改革に取り組む／二人の障がい者が組織を固め

るきっかけに／コンピュータ化の流れをいち早く取り入れる／誰一人クビにせず同業他社を救済する／共に学び、共に育つ「共育」という考え方／小さな会社が起こした大きな奇跡、の14章で構成されている。



「日本でいちばん大切にしたい会社」は、2008年に第1作が発刊され、これまで5回の続編が発刊され、延べ31社の全国の中小企業が紹介されており、今回の6作目では新たに6社が紹介されている。

## DTP技能士おめでとございます

平成29年度DTP技能検定の合格者が、このほど発表になった。  
組合員企業の合格者は次のとおり。

1 級	浦田久永（株）正文舎・札幌支部
2 級	浅沼友美子（株）正文舎・札幌支部）、石川亜古（同）、岸 由香（同）、成田貞行（同） 前田沙織（稚内印刷株）・本部直轄

### お悔やみ

鈴木敏廣氏（有限会社常盤製本代表取締役社長・旭川支部）は、3月9日ご逝去されました。70歳。  
通夜は3月11日午後6時から、葬儀は12日午前9時から、いずれも旭川市内のやわらぎ斎場旭川でしめやかに執り行われました。

### 北海道印刷工業組合 メールマガジン配信登録受付中

メールマガジンの配信希望は、北海道印刷工業組合のHPから申込受付を行っています。

[URL]

<http://www.print.or.jp>



# HOPE 2018

HOKKAIDO PRINT EXPO

## 新しい印刷産業への デジタル

展示会  
×  
セミナー  
14セッション



●主催●

HOPE実行委員会

北海道印刷工業組合・北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合  
北海道製本工業組合・北海道フォーム印刷工業会・北海道紙器段ボール箱工業組合

●後援●

経済産業省北海道経済産業局・北海道・札幌市  
北海道中小企業団体中央会・札幌商工会議所  
北海道中小企業家同友会

●協賛●

(株)印刷出版研究所・(株)日本印刷新聞社  
ニュープリンティング(株)

DATE and TIME

平成30年

# 8月31日金・9月1日土

10:00~17:00

PLACE

アクセスサッポロ 札幌市白石区流通センター4丁目3番55号